

九情研大分大会 振り返り（運営全般）

○次年度に大会を控えている場合の他県の大会の視察は、接待の仕事は接待担当、会場の仕事は会場係担当 等、各担当者が責任を持って視察するようにしておくと、準備がもっとスムーズだった。

○ボランティアでお手伝いに来てくださった先生方が、率先して動いてくれる方ばかりだったので、ギリギリの人数でもスムーズに会の運営が行えた。

○当初2回、お手伝いの先生方に打ち合わせに来ていただく予定だったが、1回で足りた。（全日と当日の打ち合わせのみ）

○スタッフみなさんが臨機応変に対応してくださり、ありがたかった。

○集客が大変だった。参加者の募集方法や広報について、工夫の必要があった。

- ・会場予約が2年前から可能だったため、研修に適した日を設定したが、大分市や大分県内での他の研修との重なりが多かった。

会場・日程について
参加者アンケートより→



○分科会資料を印刷すると小さく、見づらかったというご意見があった。

○「各県便り」を見て、他県の実態等について質問や意見交流をする場の設定についての要望があった。

○全体会講師に関わる久遠チョコレートの販売について、ご購入いただけず残念な思いをさせてしまったこともあり、物販提供のあり方について、より多くの方に満足いただけるよう検討すべきであった。

- ・販売は大分市内の任意団体に委託。

受付

- ・参加受付事前業務をマイダスコミュニケーション社に依頼したことで、現金の扱いがほとんどなく、少ない受付担当の人数でもまわすことができた。
- ・大会冊子も、各自でダウンロードだったので、冊子を渡す手間が省けよかった。
- ・クロークの利用は、5、6名だった。公にせず、言われた人にだけ案内した。
- ・胸章を借りたが、アイロンを準備していたので良かった。

接待 等

- ・来賓の菓子を無しにしたが、特に影響はなかった。
- ・飲み物をペットボトルのお茶にしたことで、接待係の人数が少なくすんだ。セッティングも楽で、片付けも不要だったのでよかった。
- ・弁当の数の把握が（来賓も含めて）当日まで大変だった。
 - ※会場がホルトホールなら一般参加の弁当のお世話は無しでよいかも…
 - ※台風も心配される猛暑の時期に、昼食をとりでかけるのは大変ではないかとの声があったため、今回は弁当の世話をした
- ・情報交換会の領収書の事前準備が不十分で参加者に迷惑をかけた